



投手は1年生3名
(近藤琉唯斗、高橋
渉太、平野義人)が
継投した。



課題のバッティングは体作りから

後藤くんは「前半は自分たちの望む試合展開ができたが、段々相手のペースにのまれ、追加点が取れなかつたことが悔やまれる。2人目の投手を打ち崩せなかつた。バッティングが課題なので、体を大きくする、体から作り変える。また、基礎からしっかり鍛えたい」と語った。

9月22日、野球秋季大会小樽支部予選1回戦で本校は北照高校と対戦し4-5で惜敗した。前半は4点をリードしたが、次第に相手ペースの展開となり、追加点を取れず逆転された。主将の後藤大成くんに振り返つてもらつた。

野球秋季大会 一回戦 北照に惜敗、冬に体作る

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年9月27日
第37号

弓道支部新人戦 花立一位、佐

3名が全道へ

9月21日、弓道支部新人戦が行われ、団体戦は男女共に2位、個人戦は女子で花立知世子さん（1-1-2）が優勝、宮下美羽さん（2-1-2）が6位、男子は佐藤製作くん（2-1-2）が4位で全道出場権を得た。



ら弓道を始めた。当日は調子も良く8射5中だつた」という。全道では8射6中で予選通過したいという。宮下さんは素直に喜びを表現した。

団体は接戦
団体戦へ男女共に接戦だつた。男子は潮陵・桜陽・本校の三つ巴、1本差の2位だつた。女子は決中で優勝を逃した。
佐藤くん競り勝つ
男子個人の全道桿は4名。8射5中で予選通過となり、3名が決まつた。残り1枠を8射3中の4名で争い、全道では「予選通過し、全国の切符を取りたい」と前向きだ。

男子個人の全道権は4名。8射5中で予選通過となり、3名が決まった。残り1枠を8射3中の4名で争い、佐藤作くんが射止めた。全国道では「予選通過し、全国の切符を取りたい」と前向きだ。

遠足+焼き肉=美味しい2倍



9月26日、爽やかな秋
空の下、おこばち山荘まで片道7キロ余りの遠足が行われた。急な登り道に息を切らしながら、予定者全員がゴールした。おこばち山荘ではグルーピごとに炭火で火をおこし焼き肉に舌鼓を打つた。後片付けも協力して行って下山し、からまつ公園で点呼を取り解散した。コロナ後、初めてのコースでの炊事遠足は満足度の高い行事となつた。

校正と見出し付の練習 新聞石狩・後志研究大会